

6-4 新温泉町における地域公共交通活性化・再生総合事業

新温泉町地域公共交通総合連携計画の目標

中心市街地の活性化、観光振興及び公立浜坂病院の利便性の向上を図るとともに、町の一体感の醸成を図るため、地域住民、運行事業者、行政が適切な役割分担のもとで主体的かつ積極的に関与していく事業を進める。

20年度事業の実施状況

1. 事業の内容

1) コミュニティバスの実証運行

運行期間	H20.10～H21.3
運行ルート	新温泉町内10路線(久斗山線 三尾線 田井線 伊角線 春來線 照来循環線 海上線 八田線 浜坂温泉線 居組線)
運賃	初乗り150円、50円単位、上限300円
受託事業者	全但バス(株)

2) スクールバス混乗化の取り組み



4) バス路線網再編・利便性向上に向けた調査・研究

再々編に向けた様々な運行形態(隔日運行・デマンド制・フリー乗降区間)の検討および基礎資料となる乗込み利用実態調査

新温泉町公共交通法定協議会

新温泉町・JR西日本・全但バス・兵庫県タクシー協会・兵庫県バス協会・町内各団体代表者・公募委員ほか

【事務局】新温泉町企画課内 0796-82-5624

3) 利便性向上のための情報提供

時刻表の発行
ホームページでの情報提供

2. プロセス、創意工夫

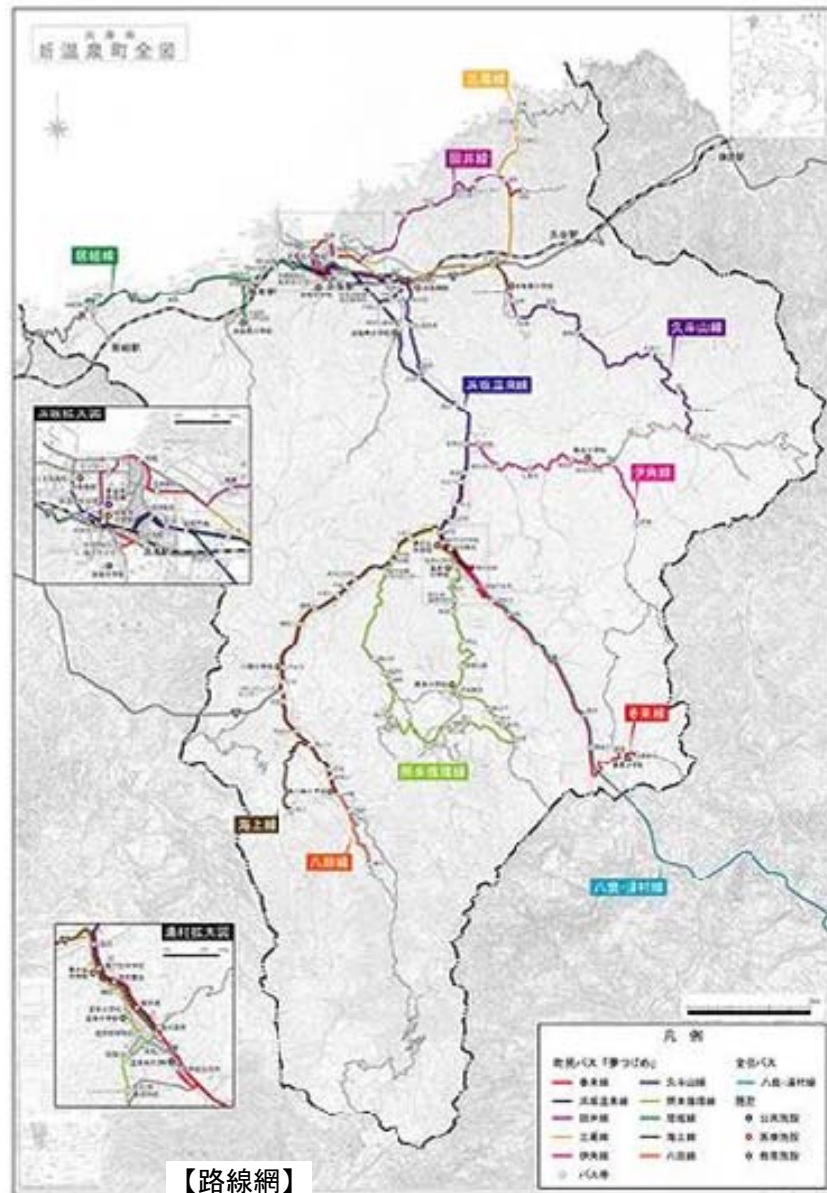
平成20年10月1日より、中心市街地の活性化や観光振興、公立浜坂病院の利便性の向上をはかるとともに、合併後の町の一体感を醸成するために、地域住民、行政、運行事業者の参画と協働のもと新温泉町民バスを運行しています。

運行には

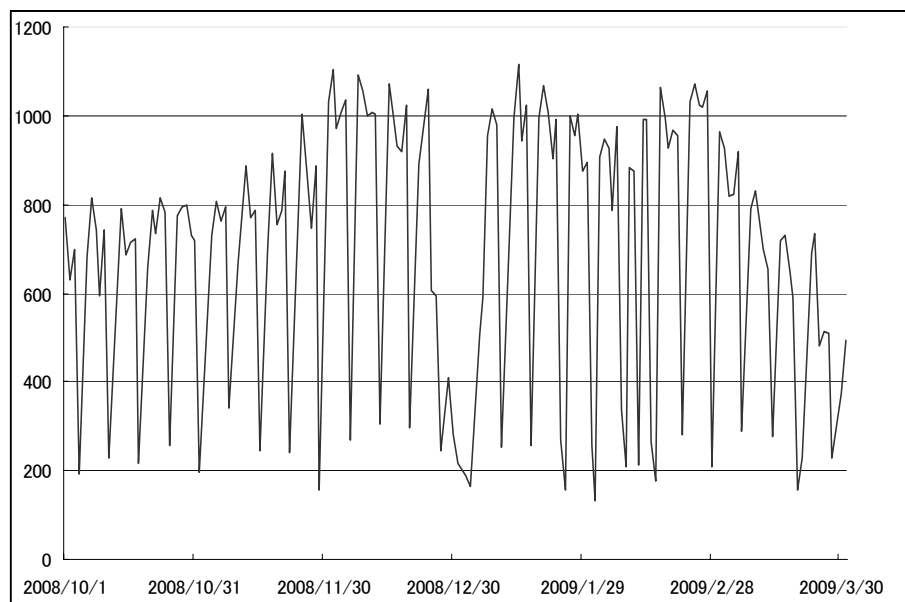
- ① 交通弱者に対し、公立浜坂病院・各学校への通院・通学の利便性向上と併せて、観光客の移動手段、中心市街地への集客の促進。
 - ② 地域住民のニーズに合った時刻表の設定。
 - ③ JR等他の公共交通機関とのアクセスの向上。
 - ④ 住民に親しみやすいバスのネーミングとロゴマークの設定。
 - ⑤ 地域の資源である山陰海岸写真を車体にプリントし、観光客に日本ジオパーク認定をPR。
- を実施し、今後も地域住民に愛され、他地域にない新温泉町の特性を生かした事業を進めます。

3. 事業費等(単位:千円)

■総事業費	●運行収入	12,729千円
69,242千円	●地域負担	40,033千円
	●総合事業費補助金	16,480千円



4. 利用実績



【1日当たり利用者数推移】(平日のみ)

21・22年度の事業予定

- コミュニティバス実証運行 21・22年度
- スクールバス混乗化の取り組み 21・22年度
- 専用車両導入 22年度
- バス路線網再編・利便性向上に向けた調査・研究 .. 21・22年度

5. 事業実施効果

- 全但バス路線退出後の移動制約者、観光客の移動手段の確保
- 運賃上限300円制の導入による、域内移動のハードルの低下
- スクールバスの活用(混乗化)による効率的な路線展開

6. 今後の課題

- 地域のニーズ特性に応じた対応策の検討
- 適正なサービス水準の維持と財政負担の軽減
- 小需要に対応したデマンド型交通の検討
- 乗降・乗り継ぎ利便性の向上の検討
- ロゴマーク・色デザインの統一により、愛着あるマイバス意識の熟成

